

授業科目名	会計ファイナンス入門	担当教員	小畑 克典
必修の区分	必修		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 3 クォーター		
講義内容	どのような職種に就くにせよ、現代の社会システムの中で「おカネ」と無縁に過ごすことは不可能である。この講義では、実社会で「おカネ」と上手に付き合うための基本的知識として、会計（おカネの計測方法の基本ルール）とファイナンス（おカネのマネジメント）の基礎を習得することを目的とする。 これまで会計・ファイナンスに触れたことがない学生を念頭に置き、複式簿記の基礎から財務諸表の見方の初歩までをカバーする。		
到達目標	実社会において要求される必要最低限の会計・ファイナンスの基礎知識を身につける（会計の用語・考え方について、日本商工会議所が主催する日商簿記検定 3 級が要求するレベルと同程度に理解できるレベル）。		
授業計画	第 1 回 イントロダクション。おカネと付き合うということ 第 2 回 おカネを測るということ。小遣い帳から複式簿記へ 第 3 回 財務諸表の全体像 第 4 回 具体的に帳簿をつける（1）日々の取引 第 5 回 具体的に帳簿をつける（2）総勘定元帳と試算表 第 6 回 具体的に帳簿をつける（3）決算整理と精算表 第 7 回 具体的に帳簿をつける（4）決算書の作成 第 8 回 財務諸表の眺め方 第 9 回 おカネを”稼ぐ”ということ。金融とはなにか 第 10 回 おカネを”回す”ということ。財務の仕事、経理の仕事 第 11 回 財務諸表から会社のストーリーを読み解く 第 12 回 まとめ。おカネと上手に付き合っていくために		
事前・事後 学習	教員が指定した参考文献の通読は必ずしも必須としないが、授業のより精確な理解に役立つ。 授業のテーマに沿って課題の提出を求めることがある。課題の提出状況・内容は、成績評価の対象となる。		
テキスト	なし		
参考文献	「合格テキスト日商簿記 3 級 Ver. 14」TAC、2023 年 2 月 島崎規子、鈴木勝浩等「はじめての簿記・会計学教室」中央経済社、2013 年 並木秀明「日商簿記 3 級をゆっくりていねいに学ぶ本」中央経済社、2019 年		

	小沢浩「簿記がわかってしまう魔法の書」日本実業出版社、2019 年
成績評価 の 基 準	受講態度（出席、授業中の議論への貢献等）30％ 課題等の提出状況・内容 30％ 期末試験 40％
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして講義を行うことから、実践的教育に該当する。
備考欄	「日商簿記検定 3 級」の受験・合格を具体的な目標とする学生は、担当教官に個別に相談すること。